



# 謹賀新年

# すずらん



## 恵生会 基本理念

「病院に関わる人すべての幸せを願う。」

## 精神疾患の患者さんは増加しています



理事長・病院長 鈴木 好文

平成11年に医療機関を受診した精神疾患の患者さんは218万人でしたが、平成20年には323万人に増加しております。そのなかで特に増加した疾病はうつ病と認知症で、それぞれ43万人から104万人と15万人から39万4千人に増加しております。

このような背景には、病気の増加もありませんが、心療内科の診療所が増えて患者さんが一般診療科を受診するように気軽にかかれるようになったことも考えられます。さらに、昨年の3・11東日本大震災と世界的規模の不況が雇用環境を悪化させておりますので労働者は生活不安のなかに追い詰められ、うつ病患者が急増してゆくことが予測されます。

また、子どもたちのなかでもうつ病が増えているという報告があります。北海道大学の研究チームが小学4年生から中学1年生の生徒について調べたところ、うつ病と診断されたのは3.1%、躁うつ病が1.1%です。学年別にみると小学4年生で1.6%、同5年生で2.1%、同6年生で4.2%

%と学年が上がるほど割合が高くなり、中学1年生では10.7%だったそうです。これまで子どもうつ病は見過ごされてきましたが、自殺との関係が深く、対策を真剣に考えてゆく必要があります。

一方、認知症については高齢社会のなかで加齢とともに多くなるのは自然の成り行きです。軽度の症状を入れると更に数が多くなりますので国全体で施策を考えなければならぬと思います。

精神疾患の患者が増加していく中で、これからの南浜病院の役割は地域のみならずと協力して治療を必要とする患者さんを早期受診につなげることです。これまで阿賀町の自殺対策強化戦略事業、新潟市北区柳原「こころの健康講座」への講師派遣や官公庁、一般企業のメンタルヘルスケア講座の開催などを行ってきました。今後このような活動を通して地域での精神疾患の予防、そして早期治療にお役に立てればと思っております。

## 第6号

平成24年1月1日  
発行

医療法人 恵生会  
広報委員会

〒950-3102  
新潟市北区島見町  
4540番地  
TEL 025-255-2121(代)

## お問い合わせ

### 南浜病院

〒950-3102  
新潟市北区島見町  
4540番地  
TEL 025-255-2121  
FAX 025-255-3532  
URL www.k-seikai.jp

### とよさかクリニック

〒950-3327  
新潟市北区石動1-16-4  
TEL 025-384-1880  
FAX 025-384-1881  
URL www.k-seikai.jp

# 南浜病院祭 報告

平成23年10月15日(土)、「精神科病院を知ってもらいたい。」「地域の皆様に感謝を込めて私たちのできる貢献をしたい。」という思いを基に2011南浜病院祭を開催しました。

あいにく天候には恵まれませんでした、それでも541名という大変多くの方に来院して頂き、大いに賑わいました。参加された皆さんには笑顔と活気があり、また、職員の地域に貢献するという強い意思、来場者の病院に対する信頼や期待が感じられました。

本年は健康づくりの講演会やKidsコーナー、キャラクター利用、地域野菜販売などの催しを行ない、幅広い年齢層に院内で楽しく時間を過ごして頂けたように思えます。来場された多くの地域住民の方に喜んでもらえたこと、次回開催があればまた来院したいなどの暖かい言葉を頂き、病院祭を開催して良かったと深く感謝しています。

来年も医療従事者としての強いチームワークで楽しいお祭りを催したいと思えます。ご参加頂いた皆様ありがとうございます。

(総務課 増井英樹)



伊勢みずほさんとねぎっこ記念撮影



よさこいチーム「Daiya」



ねぎっこ抽選会



北区フィルハーモニー管弦楽団

# 北区ふれあい・交流カーニバル

平成23年10月30日(日)、豊栄総合体育館で、第3回北区ふれあい交流カーニバルが行われました。ステージイベントでは、「野菊会」の大正琴、「松浜太鼓」・「早通中学吹奏楽部」の皆様による演奏や、「脳性マヒブラザーズ」のライブ&トークなどで盛り上がりました。会場イベントでは、福祉施設の物品販売や、疑似(障がい者・高齢者)体験、昔の遊びコーナーなどにぎわっていました。

当院のブースでは、臨床心理士による「リラクゼーション体操」が行われました。来場者の方々は、ストレスについて学び、リラクゼーション体操を行ったことによって、こころも体もリラックスすることができたようでした。

エンディングセレモニーは、フェアリーウィングスマーチングバンドとはまかぜ、太陽の村、クローバーの皆様による合同演奏でした。来場者も一緒に歌をうたい、会場全体が一体となり暖かい空気につつまれて終了しました。

(総合支援室精神保健福祉士 清水亜樹)



# 医療法人生々堂厚生会森病院との交流研修会開催

## ～新たなチームメンバーがふえました!!～

南浜病院 心理室主任 中川 甚一郎（臨床心理士）



平成23年11月16日(水)午後、17日(木)午前には栃木県宇都宮市森病院より、医師の加藤副院長はじめ、医師、看護部長、各病棟棟長、薬剤師、精神保健福祉士など各職種の長ら11名の方々が来院し、交流と研修会を行いました。1日目は病院内の視察と川嶋副院長から当院でのチーム医療についてのお話がありました。2日目は森病院職員の方々が、それぞれの部署に入り、直接現場での業務についての疑問質問を聞いたり、実際の現場体験を行ったりしました。



当院では平成18年に新病院を建設して以来、入院中心の医療を見直し、病気を抱えながらも地域で安心して暮らしていけるサポート体制を整備してきました。その中心としてチーム医療に力を注いでいます。今回、森病院様の当院来院の目的の一つは、(まだまだ発展途上ではありますが) 私たちがこれまで歩んできたチーム医療の流れや、土台作りなどを参考にさせて頂きたいというものでした。この度、森病院様の訪問により、改めて私たちもチーム医療について振り返ることができたと共に、森病院という新しい私たちのチームメンバーが増えたとも思っています。森病院では、サテライトのクリニックにおいて、復職者支援のためのデイケアをチームで行い、利用者様のニーズに対応した取組を行い、とても興味深い話を聞きました。その他にも、北関東の精神科医療の状況や南浜病院に不足しているものを交流を通じて知ることができました。今後もお互いに情報交換し、それぞれの描く病院づくりに役立てられたらと思っています。



私たち精神科医療に携わるものの目指すところは患者様の「精神的な健康への寄与」とともに、「したい生活の実現」だと考えています。

これからも院内のチームだけではなく、森病院はじめ、これまで当院と交流を行ってきた医療機関、行政、地域、そして家族の方々すべてをチームの一員と考え、「したい生活」の実現。そして、当院の基本理念である、病院に関わる人すべての幸せを願い、更なるチーム医療の強化を図りたいと思っております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

以下は来院された森病院の方々の感想です。

### 加藤副院長（医師）

『病院の進むべき方向性が明確で、その目標も浸透しており、スタッフ間の縦横の関係性が有機的かつ密であることに感銘を受けました。』

私達森病院スタッフも医療を通して、患者さんが「その人の人生をその人らしく」歩んでいけるよう、サポート、貢献できる病院、専門職となれるよう邁進していきたいという思いを強くしました。

この度は本当にありがとうございました。森病院を代表して御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。』

### 本田 暁（医師）

医師も病院全体の中で有機的に役割分担と共闘が切れ目なく発揮できるのだと思いました。また、病院という組織の中で特殊なことをやっているわけではないのに、特別な存在を占めることができるのだと勉強させていただきました。そして、どの専門職も専門性を持ちつつ、互いに補い合えるということに感激しました。

### 佐藤 久（看護部長）

病院の設備も大変充実しており、患者様が治療に専念できる環境が整っていると感じました。また、思いを傾聴し常に安全安楽な治療を行い、如何に社会に送り出すかをスタッフ一丸となって取り組んでいる姿が窺えました。また、今回の見学に当たり、文章では書ききれない程のたくさんのお話を学ぶことができました。今回の経験を活かし、少しでも多くの幸せを叶える病院にしていきたいと思いました。

### 佛田清美（デイケア看護師）

デイケアは社会復帰への第一歩の場である為、いかに“自分らしく生きていけるか”をメンバーと共に考え、他機

関との連携を図りながら支援していくことの大切さを改めて感じました。メンバーの“自分にはこれから何が必要か、今何をすべきか”という目標を明確にしたり社会に近い環境で役割の獲得が図れるようなプログラムの運営且つ関わり方を心がけていく必要があり、まずは日直やプログラム委員などを設立しメンバー主体の活動を促していきたいと思えます。

### 萩原薫季（薬剤師）

最初はホテルのようで精神科病院らしくない姿に目を奪われましたが、それは患者様を病院から地域へそして継続して地域で支えるという思いを形にすると、こうなったのかなと感じました。またスタッフのチームワークの良さや向上心の高さ、行動力に感心させられました。薬局でも取り入れることができることは、少しずつでも取り入れていき、森病院仕様に変化させていきたいです。

### 手塚崇真（精神保健福祉士）

退院促進・心理教育（家族支援プログラム）ベットコントロールこれらすべてがただ業務的に調整するのではなく、退院に結び付ける関わりを意識して行っていました。全ての行動は患者様の人権と家族へのフォローを優先に考えて行動してとても勉強になりました。

### 高橋克彰（施設精神保健福祉士）

自立訓練施設では、障がいを持つ方に如何にリハビリテーションを提供するのか職員一人一人がSST・心理教育の視点を持ちながら行っていると感じました。また、施設長からは障害者自立支援法について丁寧にレクチャーを受けることができ、私たちの施設でも活用すべき、職員のある方・本人に沿った再出発を具体的に、且つメンバーさんへの準備性も大切だと勉強になりました。



5階病棟 看護師 心理教育担当  
 本田 萌

心理教育とは、疾病・治療についての知識・情報の共有という「教育的部分」と、対処技能・問題解決能力の向上を目指す「対処技能部分」の二つの基本的な構造からなっています。専門家が単に知識や情報を一方的に教えるのではなく、グループワークなどを通して専門家と当事者、家族が一緒になって問題に取り組み、その人が主体的に療養生活を営めるように援助することが目標です。心理教育によって当事者や家族が正しい知識を得て、効果的な対処を身につけることで再発率が低下するという科学的根拠が認められています。

当院では、平成18年より統合失調症を対象とした家族教室を開催しており、現在は急性期病棟や精神一般病棟において当事者心理教育を行っています。ここでは、精神一般病棟である5階病棟で行われている心理教育についてご説明いたします。

① 当該病棟紹介

5階病棟は開放病棟であり、主な疾患は気分障害（双極性障害など）や統合失調症、パーソナリティ障害などです。ストレス緩和や社会復帰を目的とした病棟となっています。

② 担当スタッフ

病棟の看護師や薬剤師、臨床心理士、精神保健福祉士など内容に合わせて講義を担当しています。

④ 心理教育プログラムについて

2か月1クールとし、全8〜9回  
 毎週水曜日15:00〜16:00 1時間

内容：「統合失調症について学ぼう」

「気分障害・パーソナリティ障害について学ぼう」  
 「薬について」  
 「ストレス対処」  
 「社会資源について」  
 「人間関係のコツ」  
 「気持ちをコントロールする」  
 「退院後の生活について」  
 「グループディスカッション」

計9つのプログラム内容や順番は、参加される患者様に合わせて、担当スタッフが話し合い、決定しています。

⑤ 心理教育導入による効果

疾患の性質や特徴を知ること、自らの再発の予兆や悪化のサインに気付き、再発の予防が期待できると考えています。また、心理教育は個別ではなく、グループで実施します。グループになることで辛さを共有でき、不安が軽減されるといった効果もあります。その他にも対処法を習得できることで、自信や治療への意欲の向上、患者様自身が主体的に治療に参加できると思われれます。

⑥ 参加者の反応

「薬について分からないことがあったので良かった」「自分の病気を知ることが出来た」など話される患者様の声を多く聞きます。

⑦ 担当スタッフの声

正体の分からない病気、何に効くのか分からない薬などは患者様にとって先が見えづらく、不安なことだと思います。心理教育で少しでも不安を和らげ「自分一人だけが抱えていた気持ちじゃなかったんだ」と多くの患者様に感じて貰い、治療に前向きになれるようお手伝いをさせてもらいたいと考えています。

⑧ 課題と今後の抱負

心理教育プログラムを導入し、患者様

の反応から、治療や疾患の知識の習得で、自身に対する不安の軽減といった効果は徐々に得られてきているのではないかと思います。

しかし現状として、患者様にとって心理教育プログラムが知識や情報習得の場となっており、スタッフが主体になっている印象を受ける面もあります。

今後は、患者様それぞれの経験や問題等の発言を出発点に、患者様主体の活発なディスカッションにより問題解決へと結び付けていけるようなマネジメントをしていければと考えています。



シリーズ 当院の治療について

## ⑥ 南浜病院の訪問看護について

当院では退院された方、あるいは外来通院されている方が、治療を継続しながら安心して快適な自分らしい生活を送ることができるように、その方のお住まいに訪問させてもらっています。具体的には、症状やお薬についての相談、炊事・洗濯など日常生活についての相談、リフレッシュへの援助、障害年金や手帳などの制度についての相談に対応しています。また、生活を共にしているご家族がいらっしゃる場合は、ご家族の悩みや心配事なども聴かせて頂いています。

総合支援室 主任 藤井 純（看護師）





# 家族相談会のお知らせ



家族相談会では、同じような思いや体験をしているご家族同士が集まり、病気や薬について一緒に勉強したり、ご本人への接し方や今後の生活、それぞれの家族が抱える悩みや相談事について話し合います。家族同士が互いに話し合い、情報交換することで、ご家族の力となり、患者様にも良い影響がもたらされます。

今年度は、5月から12月までの全8回、毎月第3木曜日に家族相談会（前半13:15～14:00：学習会、後半14:00～16:00：家族同士の相談会）を開催し、それぞれのご家族が体験を持ち寄り、積極的な情報交換や話し合いが行われました。

来年度の予定については、多くのご家族が参加できるように、ただいま検討中です。詳細が決まり次第、院内掲示や各診察室に提示しますが、質問やお聞きしたいことがあれば心理室（☎025-255-2121内線：743）までお気軽にご連絡下さい。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

## ●●● 外来診療のご案内 ●●●

### 南 浜 病 院

診療科目 精神科  
受付時間 午前9時～午前11時（予約制）  
診察時間 午前9時30分～  
休 診 日 土曜・日曜・祝祭日

#### 担当医

月	火	水	木	金
川嶋	鈴木	川嶋	豊岡	鈴木
澁谷	豊岡	澁谷	児玉	
		児玉		

### とよさかクリニック

診療科目 心療内科  
受付時間 午前9時～午後4時（予約制）  
診察時間 午前9時00分～  
休 診 日 土曜・日曜・祝祭日

#### 担当医

月	火	水	木	金
稲月	川嶋	豊岡	稲月	澁谷



## ●●● 南浜病院 定期バス運行表 ●●●

無料

\*土・日・祝日は運行いたしません。

(平成23年12月より変更)

	南 浜 病 院 夜間出入口 デイケア棟玄関	松浜2丁目 バス停	武田整形外科	豊栄病院 (鳥居皮膚科) (さとう脳外科)	豊栄駅 北口	青木歯科付近	南 浜 病 院
1便	8:45	—	—	—	9:05	—	9:20
2便	9:30	9:40	9:43	9:55	10:05	10:15	10:25
3便	11:00	11:10	11:13	11:25	11:35	11:45	11:55
4便	13:00	13:10	13:13	13:25	13:35	13:45	13:55
5便	15:35	15:45	—	—	16:10	—	17:00



<http://k-seikai.jp>

南浜病院

検索

携帯電話からご覧いただけます

<http://k-seikai.jp>



すずらん 花言葉：幸福が訪れる。意識しない美しさ。純粹。

鈴木理事長が、病院基本理念「病院に関わる人すべての幸せを願う」を尊重して、清楚な、純粹の気持ちを持って、関わる人たちの幸せを願いたいという思いで命名されました。